

南相馬市『みんな共和国』

一般社団法人みんな未来センター

南相馬市は…



現在の南相馬市は、平成18年1月1日、旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の1市2町が合併して誕生した。

南相馬市の位置は、福島県浜通りの北部で太平洋に面し、面積は398.5平方km。東京からの距離は292kmで、いわき市と宮城県仙台市のほぼ中間にある。

総数	男	女	世帯数
64,129 人	31,333 人	32,796 人	22,604 世帯

歴史

* 報徳思想



報徳思想とは、二宮尊徳が見出した考え方。人は天道、人道に沿った生き方をするにあたり、常に徳行(至誠・勤労・分度・推譲)を行う事で豊かな暮らしを得られるとされている。天明の大飢饉以降、藩士富田高慶によってこの地に伝えられ、この思想をもとに行われた『ご仕法』で、危機に瀕していた藩政は見事に建て直された。



当時のご仕法の名残を示す史跡と共に、未だ南相馬の人々の間に、報徳思想は深く根ざしている。

東日本大震災



東日本大震災

- * 東日本大震災と、その後の原発事故は、南相馬市民から普通の生活を奪った。
- * 降り注いだ放射性物質によって、外に出る事すら制限されてしまった。



これにより、市民は心身共に疲弊していく。

早急な対処が必要!!



南相馬ダイアログ

『南相馬ダイアログ』とは、震災から8か月後の2011年11月に始まった、有志が集まって街の未来について語ろうという『対話の場』。

2012年 南相馬ダイアログフェスティバル
 2月18・19日 (sat) (sun) 20:00～18:00
 ～みんなて未来への対話をしよう～

企画
 ゆめはっと 原相馬市民文化会館
プログラム
 18日(土) 19日(日)
 18:00 開演 19:00 閉演
 19:00 開演 20:00 閉演
参加ゲスト
 加藤 孝紀子 藤田 洋子 藤田 洋子
 加藤 孝紀子 藤田 洋子 藤田 洋子
お問い合わせ
 〒919-0003 南相馬市南相馬2-40-1 TEL:0244-23-0000
 〒919-0003 南相馬市南相馬2-40-1 TEL:0244-23-0000

～5つのテーマで未来への対話(ダイアログ)をしよう～

震災、そして原発事故でひっくり返ってしまった、僕たちの街「南相馬」。ここで、地域の誇り・絆・郷土愛を見つめ直し、新しい未来の話をしよう!

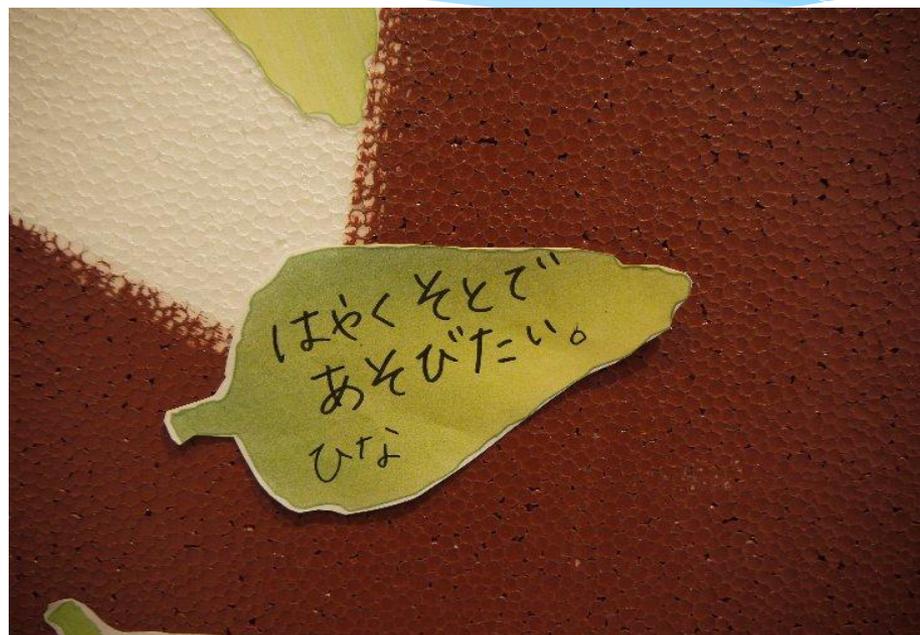
【大ホールイベント】
 18日 13:00 南相馬アンサンブルバンド
 19日 13:00 加藤孝紀子コンサート
【常設】
 18日 13:00 加藤孝紀子コンサート
【つながる】
 18日 13:00 加藤孝紀子コンサート
【食べる】
 18日 13:00 加藤孝紀子コンサート
【楽しむ】
 18日 13:00 加藤孝紀子コンサート



南相馬ダイアログ



ワークショップの一つに、子育て中のお父さんが集まる『お父さん会議』というものがあつた。その席上、『子どもを安心して遊ばせる場所が無い』『外で遊べない子どもたちが、強いストレスを抱えている』『週末ごとに南相馬を離れて遊ばせている』という訴えがあつた。

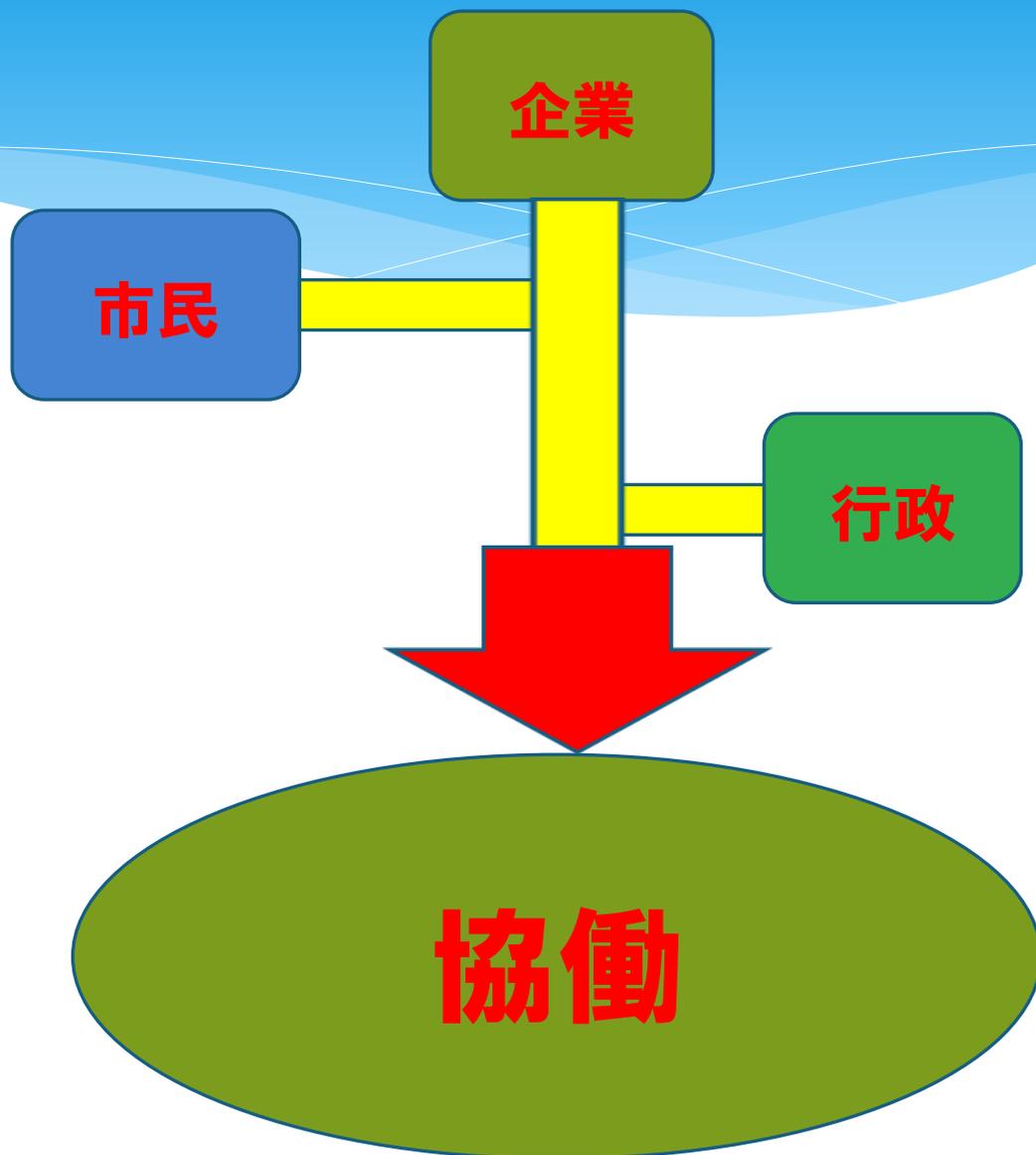


やるしかない!!

みんな共和国

『今すぐ遊び場が必要なんだから、先ずはどんどん動こう！』
これを合言葉に、初めは5人だけで『みんな共和国』の活動はスタートした。

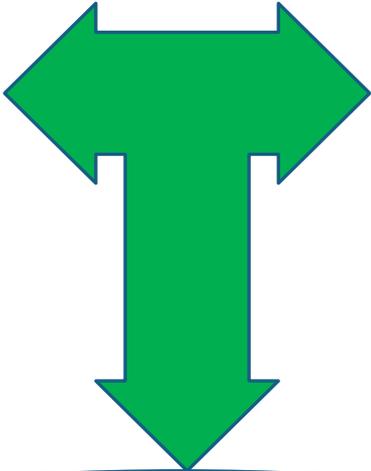
行政や民間企業にも協力を呼び掛け、いち早く協働の体制を整えた。



みんな共和国

まずは室内の遊び場から。2012年の春休みとGWに、合わせて24日間開催し、合計4200人の参加者があった。

この時、高校生が活躍する『高校生企画』という場も創った。『春のうきうき大お楽しみ会』と銘打ったイベントを開催し、その運営を高校生に任せた。



◎生活環境改善の場
◎世代を超えた街づくりの場
としての
『みんな共和国』

高見公園クリーン大作戦

外遊びへの挑戦

外遊び…不安感

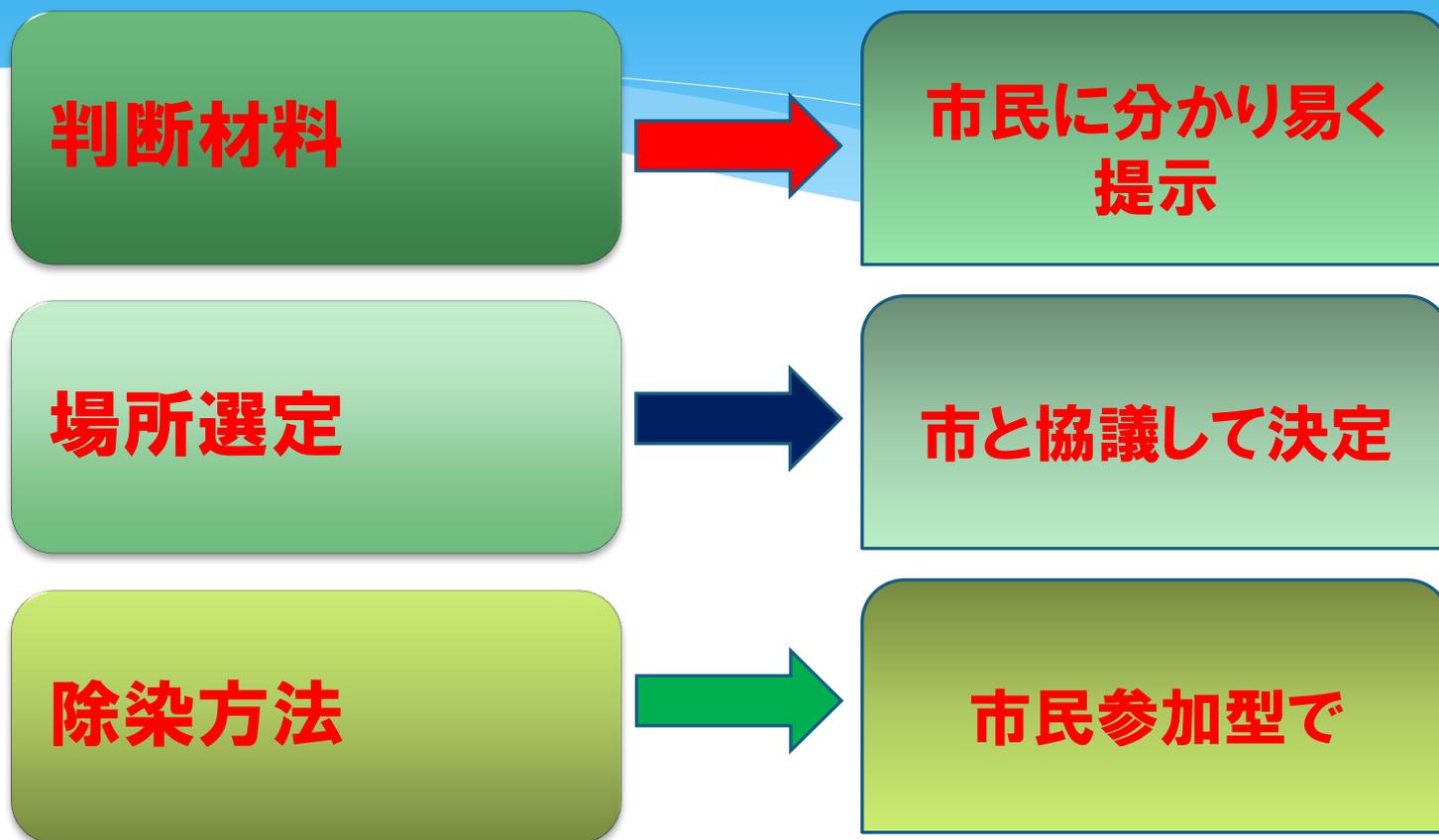
室内遊び…ストレス

子どもたちは『外でも遊びたい！』でも『駄目だと言われる』

親御さんたちも『本当は外で遊ばせたい』でも『安心感はない』

課題：安心感の創出!!

高見公園クリーン大作戦



正確な情報を、誰が見ても分かるように!!

高見公園クリーン大作戦

原発事故による放射能への不安は、危険度が分からないという事だけではない。外で子どもを遊ばせている親御さんが、周囲から後ろ指を指されるという状況も。

ならば、外遊びが可能な場所を、創り出すしかない。

そこで



行政による除染が終わっていて、通いやすい場所にあり、使いやすいスペースのある公園をという条件で市役所に相談。すると勧められたのが、高見公園という防災公園だった。ここはかつて存在した地元のシンボル『原町無線塔』の跡地でもあり、その上かなり徹底した除染が行われた場所でもあった。

ならば



除染と測定作業自体を市民参加型のイベントにしてしまおう!!

場所は…
何もない
高見公園!!

手のひらを太陽に!大作戦!!

市民参加のクリーン大作戦クリーン
大作戦後



線量測定の結果も広報に折り込んで、全世帯に配布。また、市役所や教育委員会を通じ、幼稚園、保育園の園児、小学校の児童全員にも配布。

概ね $0.1 \mu\text{Sv/h}$ 台

問いかけ
『外遊びも
考えて
みない
か?』

手のひらを太陽に!大作戦!!

ついに外遊び!!

ご寄付頂いたテント、遊具、木工の材料や、学校からお借りしたマット類の準備、会場設営など、全て有志の手を借りて整え、屋外遊び場をスタートさせた。

期間は2012年8月1日～26日。
ビニールプール、手作りの簡易プール、ハンモック、ブランコ程度の遊具から始め、だんだん大人と子どもと一緒に遊び道具を増やしていく。最終的には、やぐら、ジャンプ台、ウォータースライダー、砂場、吊り橋などが創られた。



手のひらを太陽に!大作戦!!



手のひらを太陽に!大作戦!!



参加人数は、初めの1週間は、予想より少なかった。様子見の雰囲気も漂っていたが、それも仕方のない事だった。

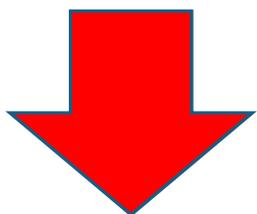
市民には、それほど難しい判断だったのだ。

しかしながら、屋外の遊び場を開いた事に対するクレームは1件も無かった。クレームどころか、日を追うごとに参加者は増え続け、最終日には300人以上の参加となった。

待ち望まれた場となった。

高見公園オープニングイベント

全国からの支援



高見公園へ

復興のランドマーク
としての
高見公園

必要なのは…

◎失ったコミュニティを再生出来、かつ安心感を持って、子どもからお年寄りまでが集まれる公園。

より生活に根差した
公園へ!

高見公園オープニングイベント

寄せられた支援

遊具設置

大人向けのゾーンと子ども向けのゾーン、そして2つのゾーンが重なったゾーンを持つ、市民がより集まりやすい公園へ！

新生高見公園をお披露目！

高見公園オープニングイベント



2012年10月21日、『高見公園
オープニングイベント』を開催した。

老若男女1000人を超える
市民が、新しい高見公
園のオープンを祝い、イベ
ントを楽しんだ。



高見公園オープニングイベント



ポニーの乗馬体験や、ミニ豚と触れ合えるコーナー、RODYヨガ教室、ネスレ日本の協力による無料コーヒーサービス、ゲストミュージシャンによるライブ、大道芸人によるパフォーマンス、似顔絵コーナーなど、たくさんのアトラクションが用意された。

爽やかな秋晴れの下、来場者みんな
でテープカットを行った。みんなが主役
のみんな共和国にふさわしい、みんな
の公園の始まりだった。
このイベントは、TVや新聞など、各種
マスコミにも取り上げられ、高見公園
はたくさんの人々に知られる事となる。



お雑煮フェスティバル

高見公園の活性化



みんな共和国イベント

中心市街地の活性化には繋がらず。

新たな仕掛けが必要!

お雑煮フェスティバル

高見公園の賑わいを、中心市街地に持ち込もう…。

季節は1月…年明けとくれば…やはり雑煮！ 雑煮なら簡単に出来て、オリジナルレシピも作りやすい…。



お雑煮フェスティバル



かくして2013年1月1日～31日、南相馬市内全域で、お雑煮フェスティバルは開催された。

広報折込やマスコミ、Web、フリーペーパーなどを使って宣伝し、スタンプラリーや、『ぞうに新聞』などでフェスティバルを盛り上げた。



お雑煮フェスティバル



1月26日には、『冬まつりin原町2013』とのコラボで、人気メニューNo.1を競う『お雑煮バトル』も開催した。会場は人・人・人の大賑わい！会場となった道の駅南相馬は、寒風の中にありながら熱気に包まれた。



1000食用意した雑煮はあっという間に完売し、材料を追加して販売、提供した。

じゃぶじゃぶ池プロジェクト

屋外遊び場の実現



十分とは言えない環境

水遊びが出来ない

土に触れない

我々がすべき事…

必要な事をやる!
出来る事をやる!

まずは安心感のある水遊び場

高見公園に
親水スペースを!!

じゃぶじゃぶ池プロジェクト

2013年3月、高見公園に親水池を設置する『じゃぶじゃぶ池プロジェクト』がスタートした。

日本中からの300を超える支援の申し出にも支えられ、池は7月に無事完成させる事が出来た。

福島県南相馬の子どものために
みんなの力で じゃぶじゃぶ池をつくろう！
…そして一緒に感動を共有しましょう！！

福島県南相馬市で震災支援活動を行っているNPO団体の有志で立ち上げた任意団体…それが『みんな共和国』です。みんな共和国は、これまで継続して子どもの遊び場創設を進めてきました。2012年10月には、市内高見公園に企業助成金を得て、遊具(子ども向け・大人向け健康作り器具)を設置いたしました。
今や市民とならば、多くの親子連れでにぎわっています。
また、今の高見公園には外遊びの安心感が定着しつつあります。ただ…海や川があるにもかかわらず、取組みの影響で子どもたちが自由に水遊びができる場所が、南相馬にはありません。
そこで、皆さんにご提案です。
『じゃぶじゃぶ池』をみんなの力で作りましょう！ 『じゃぶじゃぶ池』とは、水遊びが好きな幼稚園、パンプキンでじゃぶじゃぶ入る遊べる人工の池です。池二層水もあって楽しく、しかも水は水道の水の循環式ですから清潔で安心です。試す、企業のご協力もあり、今年7月オープン開始に向けてあります。ぜひ一緒に実現させましょう！(イメージ)

どうやって実現!? …その方法は2つあります。

A. 『READY FOR?』という支援サイトの中の『じゃぶじゃぶ池をつくろうプロジェクト』にご賛同(引換券ご購入)いただく(目標金額300万円達成)

B. 『みんな共和国じゃぶじゃぶ池プロジェクト』口座へ直接ご寄付いただく

銀行振込口座 ゆうちょ銀行 八二八支店 普通 0621721
郵便振込口座 郵便番号 02240-0-185830
名義 みんな共和国じゃぶじゃぶ池P (みんな共和国プロジェクト)

※名義のご住所のご記入を可能な限りお願いします。(ご記入なき場合は特典が送れません)
※3,000円以上のご寄付の方につきましては、上記何種の引換券を差し上げます。
※寄附への名入れは、振込(郵便)口座に印字されたお名前となります。
※ご賛同金は、全てじゃぶじゃぶ池プロジェクトのみに使用され、他の事業への活用はありません。



SoftBank 23:00 28%

南相馬市高見公園にじゃぶじゃぶ池をつくろう!!

readyfor.jp/projects リーダー 検索

READY FOR? READY FOR? Member List

南相馬市高見公園にじゃぶじゃぶ池をつくろう!! みんな共和国

このプロジェクトをウォッチする

6,165,000円
目標金額 3,000,000円
スポンサー募集終了です 終了しました
賛助した人数 345人

プロジェクトが成立しました!
このプロジェクトは寄付(引換券)で達成されました。

¥3,000 子供用おもちゃ
- ネットオーダー(送料別)
1000円 大人用

¥10,000 子供用おもちゃ
- ネットオーダー
- みんな共和国(子供用おもちゃ)
- 公園管理への寄付(大人用おもちゃ)
2000円 大人用

¥30,000 子供用おもちゃ
- ネットオーダー
- みんな共和国(子供用おもちゃ)
- 公園管理への寄付(大人用おもちゃ)
3000円 大人用

このプロジェクトについて
ゴールまであともう少し!
よろしくお祈りします!



じゃぶじゃぶ池プロジェクト



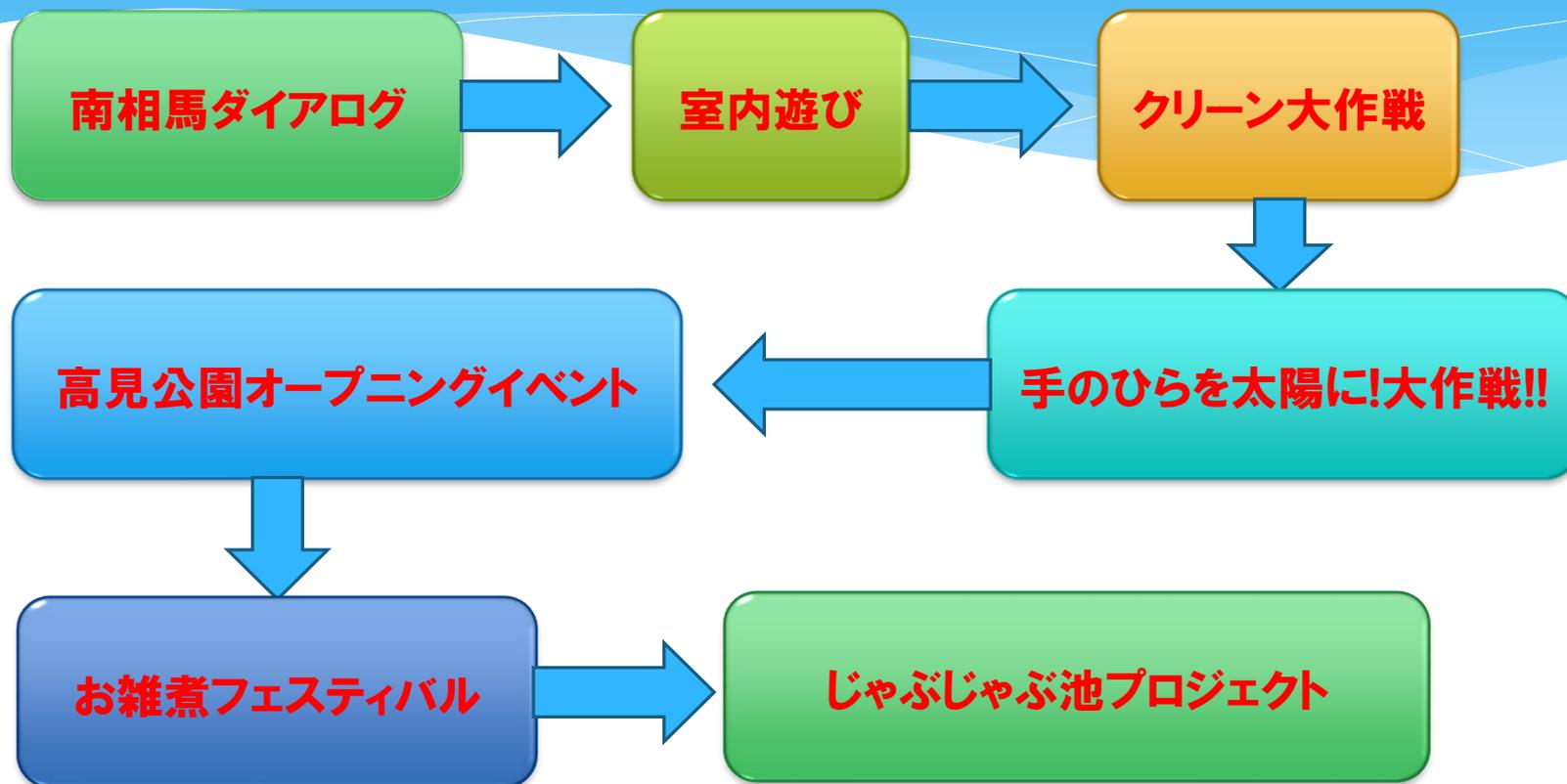
じゃぶじゃぶ池プロジェクト

7月20日21日の両日、無事完成したじゃぶじゃぶ池のオープニングイベントが開かれた。大人も子どももみんな一緒だ。これはじゃぶじゃぶ池が、市民みんなのモノなんだという宣言でもあった。

その後じゃぶじゃぶ池は、10月の終わりまでずっと動いていた。市民が気軽に集まり、遊べる場所として根付いたのだった。



継続的な活動



- ・流れの中で
- ・段階を踏んで

活動を継続

今後の活動

目前の問題

- ・ 南相馬に住む人に安心感を

将来の問題

- ・ 皆が楽しく過ごせる場所に

**南相馬を
世界一楽しい街に!!**